

# 吉村明の みつひかり 栽培日誌 4



**吉村明**  
よしむら あきら  
三井化学アグロ株  
営業本部マーケティング部  
ハイブリッドライス 種子グループ  
グループリーダー  
1962年生まれ。1988年 北海道大学大学院農学研究科修了。同年 三井東圧化学株(現三井化学)入社、農業資材開発に従事(北海道工業所勤務)。1996年本社異動後、ハイブリッドライス事業開発を担当になる。2000年に事業ごと三井東圧農業株(現三井化学アグロ)に異動し、現在に至る。17年間「みつひかり」をライフワークに、全国を飛び回る。

## 順調に育苗開始!

先日、全国で一番播種の早い、鹿児島県S市での育苗状況を見てきました。2月28日播種で順調に生育しています。他にも、関東・北陸・近畿・九州など、田植えが早い地域で育苗がスタートしています。今年はどうな天候となるか、さまざまな予想が出ていますが、大きなトラブルなく、生産者の皆様の満足いく生育となることを祈念しています。



育苗状況(滋賀県野洲市・株グリーンちゅうず、3月24日播種、4月2日撮影)

## 実需者との出会い

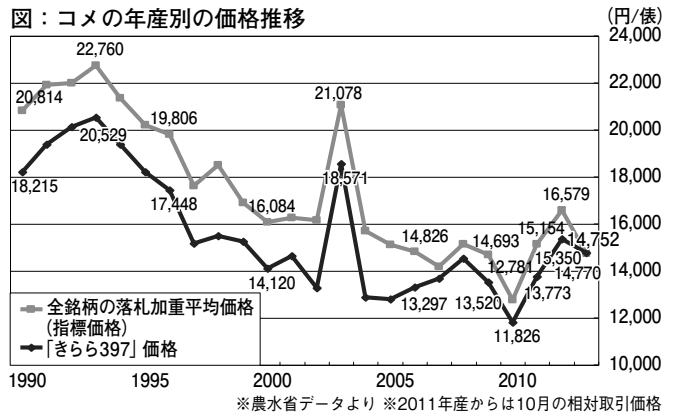


## 「みつひかり物語」④

2003年は、タイ米の大量輸入があった93年(作況指数74)以来の「冷害」(同90)で、コメ不足懸念から前年比1俵約5000円高と米価が高騰しました(下図)。原料価格アップを販売単価に転嫁しづらい業務用米市場は大打撃を受けることになりました。一般品種の収量が軒並み減少するなか、生育期間の長い「みつひかり」への影響は少なく、こうした年でも12俵前後の収量を得ることができました。この特性に注目したのが、現在もみつひかりを積極的に取り扱っている大手米卸の(株)神明と大手牛丼チェーンの(株)吉野家です。

この年の冷害が決定的となった10月、(株)神明・藤尾益造取締役部長(現常務取締役)から「みつひかりの現地圃場を見たい」との連絡がありました。(株)吉野家D&C・小内一茂バイヤー(現

図：コメの年産別の価格推移



(株)吉野家ホールディングス商品部穀物野菜担当部長)と岡山駅で待ち合わせ、藤尾部長と吉村の3人で圃場を視察し、例年とほとんど変わらない生育のみつひかりをご覧いただきました。「米価の乱高下は経営に与える影響が大きい。安定的な価格帯で取引できる品質のバラツキの少ない品種・取り組みを探していた」と小内バイヤー。こうして04年から、吉野家を最終ユーザーとする「みつひかりプロジェクト」が立ち上がりました。初年度の集荷目標を3000tと設定し、中部以西の6県での「契約栽培」がスタートしたのです。

「黙っていても穂が大きい稲」ですが、地力の影響を一番受ける幼穂形成期に十分な養分がなければ籾数は増えません。2〜3kg/10aを目安に出穂後25日前頃に施してください。出穂後の養分は登熟を遅らせる原因となります。一発肥料を使えば作業は楽になりますが、140日タイプでは出穂後も養分が溶出し、登熟不良の原因となります。移植時期にもよりますが、1



## 栽培のポイント④

圃場条件、作期などから目標収量を定めたら、「籾数をどのように確保するか」を考えます。基本設計は、「穂数・300本/m<sup>2</sup>」×「一穂粒数・150粒」=4万5000粒/m<sup>2</sup>です。より多収を狙う場合、一穂粒数の2割アップ(180粒以上)を目指します。

**施肥体系**…みつひかりは穂重型の稲で分けつは旺盛ですが、穂につながりづらいため、「元肥重視」の施肥体系となります。一般品種の約2〜3割を増肥の目安(速効性の肥料で7〜8kg/10a程度)とし、初期分けつを確保してください。移植後、10日経過しても葉色が濃くならない場合は問題あり。肥料不足の場合は硫酸等で追肥してください。有機物分解による根痛みがある場合は、水を落としてガス抜きが必要です。

## 生産者インタビュー

「みつひかりは関東を中心に消費者の受けがいい。くせがないので使いやすいと外食向けにも需要が伸びてきている」

今年でみつひかり栽培5年目を迎える石川県N市の農事組合法人サンゴウ会。条件の悪い中山間地を多く抱えていながら、新宅さん親子が中心となり75haを耕作する。今年は水稲65haのうち、みつひかりが25haを占めるまで拡大した。「みつひかりは『多収』で『作業分散』でき、大規模経営に適する品種だ。中山間地は水の心配があったが、胴割れせず、刈り遅れの心配もないので、安心して栽培できる」と話すのは息子の省吾さん。サンゴウ会では、インターネット販売で独自の販路開拓も行なっている。ホームページを見た東京のカレー店からの問い合わせをきっかけに取引開始、今やそのお店に欠かせないコメとなっている。「米価が下がる方向で、これからの経営を考えると、みつひかりは実需とのマッチングもあり、先は明るい」「北陸では難しいと思っていたが、大麦跡でも栽培できる」とみつひかりに大きな手ごたえを感じている。



新宅龍夫さん(父・写真右)  
省吾さん(子・写真左)

外食向けにも需要が伸び、販売にも自信が持てる

10〜120日タイプの使用をお奨めします。

**栽植密度**・生育期間が十分に確保できる地域を除き、疎植にしても一株当たりの穂数を25本以上確保するのは至難の業。目標穂数の300本/m<sup>2</sup>を確保するには、坪60株植えが基本、と考えています。早植えて坪50株、田植えが遅くなる地域では坪70株など、地域・条件に合わせて安定した収量が確保できます。一穂粒数は、幼穂形成期以降の養分で決まり、栽植密度、株当たりの穂数との相関はほとんどありません。

**植え付け本数**・穂数型の稲と違い、遅い分けつは穂につながりません。1本

植えては10本程度の穂にしかならなかったため、1株当たり3〜5本を植え付けてください。

**水管理**・移植後は、除草剤の効きとの関係がありますが、できる限り浅水管理とし、分けつを促進するように心がけてください。

**土づくり**・根圏を広げる深耕、堆肥・緑肥栽培などの有機物の多投、野菜跡・豆跡などの肥料・窒素成分の有効活用が多収穫の大事なポイントです。基本的に「多収穫のためには多くのエサがいます」のは確かです。与え過ぎはいけません。不足では思ったような収量を確保できません。

表：栽植密度と必要穂数

目標穂数：300本/m <sup>2</sup>			
栽植密度 (株/坪)	必要穂数 (本/株)	栽植密度 (株/坪)	必要穂数 (本/株)
70株 (株間15cm)	14本	50株 (株間22cm)	20本
60株 (株間18cm)	16〜17本	45株 (株間24cm)	22本
55株 (株間20cm)	18本	37株 (株間30cm)	26〜27本

協力：  
三井化学アグリ株式会社 営業本部 マーケティング部  
ハイブリッドライス種子グループ  
〒105-7117 東京都港区東新橋1-5-2  
汐留シティセンター  
TEL：03-3573-9869 FAX：03-3573-9891

## 畦畔の雑草防除ポイント

水稲栽培作業の中で、田圃面積の約7%を占めるといわれている畦畔の雑草管理はとても大切です。畦畔雑草の管理が不十分だと、アゼガヤ、アシカキなどの雑草の水田内への侵入、畦畔際での雑草の繁茂によりカメムシや病害などの温床となり、水稲の生産・品質等に影響を及ぼすと考えられています。

一方で、過剰に雑草管理を行ない、長期間にわたって雑草がないと、畦畔土壌の流出・崩壊を引き起こし、土堤としての本来の機能が失われると考えられます。このため、畦畔雑草の管理については適度な植生の管理が必要であると思われまます。

畦畔管理の方法としては、機械による刈り払いと薬剤による防除が挙げられます。機械を使用する場合、特に夏場の作業では刈った雑草の処理など使用者の体力が必要となり、高齢者や女性の作業が困難な場合があると考えられています。その一方で、薬剤による防除の場合、畦畔の崩壊、作物への影響、景観などいくつかの問題も考えられてい

ます。どちらか一方に偏るのではなく、うまく両者を組み合わせることで、機械での防除回数、薬剤購入に関するコストの低減が図れると考えられます。特に非選択性除草剤の秋季散布により翌年の雑草の発生を抑えるとともに、稲への飛散、畦畔が枯れることでの見た目等の問題点も解決できます。

主な非選択性除草剤としてグリホサート液剤(草枯らしMIC、クサクリーン液剤等)が挙げられます。この剤の上手な使い方を以下に列記します。

- ①土が混じった泥水ではなくきれいな水で薄めてください
- ②散布前後に雑草を刈り払わないでください
- ③降雨が予想される時は散布せず、天気の良い日に散布してください
- ④希釈された処理液をまんべんなく散布してください

(除草剤グループ)